



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東名

上場会社名 萩原電気株式会社

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	20,479	1.9	566	35.6	569	40.8	361	63.9
27年3月期第1四半期	20,089	2.7	417	△1.2	404	△1.8	220	2.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 398百万円 (64.0%) 27年3月期第1四半期 242百万円 (△23.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	43.52	—
27年3月期第1四半期	26.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	44,535	23,435	52.6
27年3月期	46,670	23,328	50.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 23,435百万円 27年3月期 23,328百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	43,600	2.2	1,240	△4.6	1,220	△6.2	780	93.91
通期	91,200	2.5	2,880	1.2	2,830	△1.4	1,840	221.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	8,318,000 株	27年3月期	8,318,000 株
28年3月期1Q	12,471 株	27年3月期	12,421 株
28年3月期1Q	8,305,571 株	27年3月期1Q	8,305,679 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策により、引き続き円安・株高傾向となり、個人消費の回復や企業業績の改善を背景に景気は緩やかな回復の動きを続けてきたものの、ギリシャの債務問題や中国経済の減速懸念等の海外リスクがあり、先行きの不透明感は払拭できない状況となっております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、自動車生産台数が北米市場においては増加したものの、国内では減少するなど、全体としては弱含みの動きとなりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の確保に努めるとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は204億79百万円（前年同四半期比1.9%増）となり、利益面では、社内システムの減価償却費の負担減少もあり、営業利益は5億66百万円（前年同四半期比35.6%増）、経常利益は5億69百万円（前年同四半期比40.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億61百万円（前年同四半期比63.9%増）の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサ、システムLSI、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムLSI設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、原油安を背景としたガソリン車の需要拡大を受け、ハイブリッド車を中心としたエコカー生産の需要が弱含みで推移しましたが、販売費及び一般管理費の抑制が寄与し、デバイスビジネスユニット事業の売上高は、170億56百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は6億84百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

#### (ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたIT機器の提供やアプリケーション開発をはじめとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主要顧客である自動車関連企業を中心とした企業の情報化投資需要や設備投資需要を確実に捉えるとともに、FA・計測分野における提案営業を始め、協業先企業と連携した新規顧客開拓などで積極的な営業活動を展開するとともに、大型案件の売上があったこともあり、ソリューションビジネスユニット事業の売上高は34億22百万円（前年同四半期比16.2%増）、営業利益は1億82百万円（前年同四半期比272.3%増）となり増収増益を達成いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて21億34百万円減少し445億35百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて20億76百万円減少し399億11百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億75百万円及び受取手形及び売掛金が17億35百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し46億24百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて22億41百万円減少し211億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16億2百万円減少し171億81百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が18億20百万円及び未払法人税等が5億10百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6億39百万円減少し39億18百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことに伴って、固定負債が6億38百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億7百万円増加し234億35百万円となりました。

この結果、自己資本比率は52.6%（前連結会計年度末は50.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年度3月期の業績予想につきましては、平成27年5月8日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,263	4,887
受取手形及び売掛金	25,512	23,777
電子記録債権	682	760
有価証券	—	101
商品及び製品	9,438	9,349
仕掛品	237	388
原材料及び貯蔵品	155	137
その他	701	513
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,987	39,911
固定資産		
有形固定資産	2,703	2,685
無形固定資産	189	182
投資その他の資産		
その他	1,811	1,777
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	1,790	1,756
固定資産合計	4,682	4,624
資産合計	46,670	44,535
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,929	10,109
短期借入金	4,024	4,603
1年内返済予定の長期借入金	794	1,294
未払法人税等	555	45
その他	1,479	1,128
流動負債合計	18,784	17,181
固定負債		
長期借入金	4,008	3,370
退職給付に係る負債	66	49
その他	482	499
固定負債合計	4,557	3,918
負債合計	23,341	21,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,301	3,301
資本剰余金	3,792	3,792
利益剰余金	15,571	15,642
自己株式	△12	△12
株主資本合計	22,653	22,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	288
為替換算調整勘定	342	351
退職給付に係る調整累計額	70	72
その他の包括利益累計額合計	675	711
純資産合計	23,328	23,435
負債純資産合計	46,670	44,535

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	20,089	20,479
売上原価	18,227	18,414
売上総利益	1,861	2,065
販売費及び一般管理費	1,444	1,498
営業利益	417	566
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	4	6
為替差益	—	2
業務受託手数料	10	6
その他	1	5
営業外収益合計	17	21
営業外費用		
支払利息	12	11
為替差損	9	—
売上債権売却損	6	5
その他	2	1
営業外費用合計	30	18
経常利益	404	569
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	403	569
法人税等	183	207
四半期純利益	220	361
親会社株主に帰属する四半期純利益	220	361

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	220	361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	26
為替換算調整勘定	△28	8
退職給付に係る調整額	5	1
その他の包括利益合計	22	36
四半期包括利益	242	398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	398

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,144	2,944	20,089	—	20,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	4	29	△29	—
計	17,170	2,948	20,118	△29	20,089
セグメント利益	629	48	678	△260	417

(注) 1 セグメント利益の調整額△260百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,056	3,422	20,479	—	20,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	0	36	△36	—
計	17,092	3,423	20,515	△36	20,479
セグメント利益	684	182	866	△300	566

(注) 1 セグメント利益の調整額△300百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。